

箕輪町第5次振興計画

区の将来像 実績シート

令和6年度

区名：沢

キャッチフレーズ：歴史と伝統を受け継ぎ 次世代の若者が育つ 沢

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
自然に対話が生まれ、次世代が育つ機会をつくるため、これまでも常会等で続けてきた話し合いの場を大切にします	○広報さわを4月と12月に発行し、区の事を親しまれる内容で紹介し、区民との繋がりを強める広報活動を行う ○常会や組単位で開催する会合や行事等話し合いの場を大切にし、住民の絆を深める ○各サロン、サークルへの区補助金を継続し交流の場、生きがいづくりを広める	○広報さわが4月13日と12月14日に発行した。 ○常会や組単位で、区費徴収時、行事開催時、役員選出時に会合がもたれた。常会(組)で頻度の差があった。 ○各サロン・サークル、6団体へ区補助金を交付した。	○広報さわを2回／年、発行する。 ○常会や組単位での会合実施を促す。 ○各サロン・サークルへの区からの補助を継続する。
年齢や性別にかかわらず、活動には区民全員が参加できるよう工夫します	○区民スポーツ祭、区民文化祭、納涼祭、区民ハイキング等を実施し、子供からお年寄りまで、周りに声を掛け合い気楽に参加し楽しめる企画と環境をつくり進める。 ○高齢者を尊び長寿を祝い、慰労と交流の場として「尚齒会」をコロナ前の規模に戻し実施する。	○区民ハイキング5/12(日)、区民スポーツ祭7/7(日)、納涼祭8/14(水)雨天決行、区民文化祭10/19(土)20(日)が実施され、子供からお年寄りまでが参加し楽しめた。 ○「尚齒会」(敬老会)が飲食を伴うかたちで盛大に開催された。(対象者648名、出席者73名)	○公民館事業として各種行事を継続する。 ○「尚齒会」を継続する。
高齢化や核家族化が進んでも区や常会との関わりを保つため、役員業務や共同作業等の負担軽減など、新たな仕組みを検討します	○自主防災組織を充実し、安否カードにより災害時の安否確認や要支援者の避難支援体制等を確立する。また年間を通じて防災に対する意識の高揚を図る。 ○全戸対象で「支え合い調査票」を実施しマッチングを図り、要支援者の支援(ゴミ出し、雪かき、草取り等)を行う。 ○自衛消防のために、消火栓・ホース筒先の取扱いの訓練を、昨年実施していない組・常会を中心に実施する。 ○常会の規模等の見直しを進め、役員の負担軽減を図る。	○自主防災会組織図の作成、安否カードの見直しを実施した。 ○支え合いの調査、マッチングを実施した。 ○消火栓・ホース筒先の取扱いの訓練を2常会で実施した。 ○役員従事頻度をできる限り平準化する為に、組の再編(統合)を実施した(30組⇒27組)。	○自主防災組織の見直し、自主防災の課題を検討していく。 ○支え合いの調査、マッチング継続実施する。 ○役員業務軽減につき、引き続き検討していく。

区名：大出

キャッチフレーズ：全ての世代がここで暮らして良かったと実感できる 大出

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
コロナ禍を考慮した区の活動や対応を考える。区としてやらなくてはならないことを検討して、思い切った精選等により区役員の負担軽減を図ります。また、区内の意思疎通を図っていくためにも、毎月19日の合同会は継続していきます	・運動会に拘らず、子供・高齢者が一緒に楽しめるスポーツフェスティバルの実施 ・従来の納涼祭と異なり、今後区の担う子供を中心の子供夏祭りの実施 ・区役員の高齢化に伴う負担軽減のため、一部枝払い・草刈りの外部委託 ・組・区に加入しない人が増加しており、その対応策の検討	①区民スポーツ大会(モルック)の実施 ②夏祭り子供縁日の実施 ③寺子屋教室の実施 ④深沢川の区会による草刈りの実施(2回)	①区・常会への加入促進活動 ②区役員の業務負担軽減の検討
ひとり暮らしの高齢者への組内での支え合いマップを推進するだけでなく、満足感をもった生活ができる仕組みを、コロナ禍で活動が少なくなった公民館活動で考えます	・長寿を祝う会(旧敬老会)実施に向けた取り組み ・高齢者小集団活動 長寿クラブ・元気かい・おいでよ大出・マレットゴルフ・そば祭り等コミュニケーションの支援 ・支え合い活動の充実(草刈り・ゴミ出し・雪かき等)	①長寿を祝う会は参加者少数のため商品券配布 ②長寿クラブ・ふれあいサロン・おいでよ大出の活動 支援 ③支え合いマップ更新の実施 ④施設入居により空き家状態の家周りの草刈りの実施(区役員) ⑤いきいき百歳体操の継続実施	①コロナも一旦落ち着き始めているため、長寿を祝う会の実施
子育て世代の夫婦に対して、町と協力して、平林公園の環境整備と大出区への大型遊具の設置を進める。また、空き家を調べ、豊島区との連携で生かしていけるか町と検討します	・高橋神社の遊具更新は、神社庁等許可が必要であり断念。 ・そのため、平林公園を3年計画で再整備し区民がコミュニケーションが取れるようにする。 ・高橋神社・城山公園等整備し、区民が親しめる場所の提供 ・子供・親子を中心とした防災キャンプ実施に向けた取り組み。(別紙3年計画) ・清流を守る取り組みを継続し地域の環境保全に取り組む	①平林公園環境整備として今年度支障木枝切り・公園内草刈りの実施 ②子供を中心とした防災活動として防災キャンプを計画今年度は、最低限の備品整備を行った。 ③区内有志による大出そば祭りの支援及び実施	①防災キャンプについてはR7年度トライアルを行うため役場危機管理課の支援をお願いしながら実施したい。
大人たちから子どもたちに、積極的に「おはようございます」「こんにちは」など、場に合った言葉を声かけして、明るい地域にしていく。子どもたちの気持ちだけでなく、大出地区の一体感を育てます	・挨拶活動は、引き続き実施。啓発ののぼり旗の更新 ・地域・会合等での積極的な挨拶の実施	①合同会にて挨拶活動について声掛けをして頂くようお願いした。また幟の老朽かした旗の取り換え・更新の実施	①防犯の意味からも区民の声掛けは重要なので、合同会等通じ活動を継続していくよう取り組む。

区名:八乙女

キャッチフレーズ:区民の絆が 暮らしをつなぐ 心触れ合う 八乙女

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
行事、寺子屋、区史等を通じて区の習わしを後世に伝え、水路橋やグラウンドを維持管理します	・麦刈り・麦こき:7月 ・まんど作り、まんど振り:8月 ・どんど焼き:1月	・麦刈り、麦こき実施 7月 ・まんど作り、まんど振り実施 8月 ・寺子屋実施 7月(3日間) ・クリスマス会実施 12月 ・どんど焼き実施 1月 ・グラウンドバックネットの張り替え 11月	・麦耕作者へ次年度のお願い ・水路橋下草刈り
八乙女オリンピックに代表されるように、区民全員で参加できる取組を行い、魅力ある区をつくれます	・夏祭りの(夏フェス)実施(4年に1回):8月 ・町内駅伝への参加:9月	・夏祭り(夏フェス)実施 8月 ・町内一周駅伝大会参加1チーム 9月	・駅伝大会参加者の早期勧誘
高齢者を温かく包み込む活動と、子供たちが安全・安心に過ごせるように公園や通学路を整備し、支援します	・おいでなんしょの開催(月1回) ・百歳体操の実施(週1回) ・敬老慰安会:秋 ・高齢者の困り事への対応(雪かき、除草剤散布等、庭木の剪定)	・子供たち対象の駄菓子屋実施 4月 ・おいでなんしょ実施(月1回) ・元気組(百歳体操)実施(週1回) ・敬老慰安会実施 11月 ・高齢者の困り事への対応(除草剤散布、庭木の剪定、雪かき)	・おいでなんしょ、百歳体操様々な年代の区民が気軽に立ち寄りふれあう地域のコミュニティとしての役割を担う
みのわメイトを始めとするスマホ利用により、区の情報を発信し、活力ある区を目指します	会合や集会及びくの配布書類で入会を促す 区の状況、情報を発信する	・区の状況情報を発信 (区の防災訓練訓練等)	・みのわメイトの活用を区民に推進

区名:下古田

キャッチフレーズ:伝統を育み 子どもも大人もみんなが輝く 自然豊かな 下古田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区内の資源や耕作放棄地を利活用できるよう、区内の魅力を再発見し、区民で共有します	1. 犬吠地区の花畑作り: ・フクロナデシコ(主催 下古田の絆)、 ・長寿花園(主催 長寿クラブ)	1.フクロナデシコ、長寿花園ともに実施。 2.長寿花園は区が苗の購入代金を補助するとともに、植え付け、草刈り作業へ区会議員も参加している。クラブ会員が減る一方で、作業が大変。	1.フクロナデシコ:現在栽培している犬吠地区の、面積拡大を検討していく。 2.長寿花園は、区長寿クラブが中心に進め、区は苗代等を補助しており、この形で進めていきたい。また、会員加入を進めていきたい。
イベント内容や開催時期の見直し、検討を行いながら行事を継続し、高齢者や子どもも含めた区民の交流機会の維持・創出をします	1. 区民参加のイベント実施: コロナを意識し実践には工夫を ・山菜取り、マレットゴルフ大会、駅伝大会、区民の集い、そば打ち大会、餅つき大会、しめ縄づくり、本だれ様	1.多くの行事が実施できた。 実施: 山菜採り 4月 マレットゴルフ 8月 駅伝大会 9月 区民の集い 10月 そば打ち 11月 しめ縄作り 12月 ほんだれ様 1月 餅つき大会	1.コロナ前の水準に戻すことができたが、コロナ+インフルを意識して進める必要がある。
子どもたちへ自然環境の大切さや豊かさを伝える機会を創出します	1. アレチウリ、オオキンケイギクの駆除、地域美化活動を継続する 2. 不法投棄パトロールを春、秋に実施 3. 山菜取りなどのイベントを実施し、区を取り巻く里山を実感させる	1.アレチウリ駆除を5回実施(6.7.8.9月)一度は200kg 大量に駆除できた。 2.不法投棄パト、道路落葉清掃を6.12月実施 3.山菜採りイベントは、多数の参加により盛大に実施できた。	1.アレチウリ等の駆除:区衛生部が主体となり、継続する。生息区域が拡大しつつあり、駆除範囲の検討が必要。 2.各種イベントは、公民館などと連携して進める。
区の事業継続・体制維持のため、区行政のあり方や仕組みを検討します	1. 新「区条例」に則った区の運営を実施 2. 組、班の形態の見直し検討を継続	1.新条例に則った区の運営を実施した。 2.組、班の見直しは、手がつかないが、町、区からの依頼が多い。	1.移住者があり人口は微増するも、組や班の戸数がアンバランスのため、見直しは必要。 2.組長、班長の依頼作業が多く、分散をするため、省略、廃止を検討する。
一人暮らしの高齢者の安否確認を行います	1. 高齢者の独居者を定期的に訪問し、声掛けする 2. 介護支援サポーター(8名)と定期的に情報共有を図る	1.毎月の区会で、独居高齢者情報を持ち寄り、社協との共有を図った。 2.一人暮らしで自宅廻りの整備困難者の整備作業を区会と有志により支援出来た。	1.介護支援サポーターの方も年々高齢化になりつつあり新規介護支援サポーターの育成必要。

区名：上古田

キャッチフレーズ：皆で一緒に楽しもう！ 上古田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取り組み(実績)	来年度への引継事項
人口の減少傾向に対応しながらも、上古田が取り組んできた様々な取り組みを後世につなぐため、役割や行事等のあり方を検討します	・ここ数年定着してきた「赤そば区民の集い」の実施形態を見直しながらより多くの区民が参加できるような工夫を進めた。 ・民生委員、常会長と連携して「支え合いマップ」を作成しながら、高齢者世帯へのフォローを行うとともに、災害時の避難支援も具体的な方法を検討していきたい。	・赤そばの里区民の集いは300名近い参加者があり、親子連れの参加者も多く、赤そばを大事にしている区の良さを新そばを味わうことで感得できた。 ・地区社協と連携しながら、高齢者への訪問活動を行い要望や困りごとを聞くなどしながら高齢者支援に努めた。	・赤そばの里を今後も区民を中心に大事にしていく風土を培っていきたい。そのためには引き続きの町の支援や近隣地区の協力を検討したい。 ・高齢者世帯が増える中で改めて「向こう三軒両隣」の地域意識を大事にしていきたい。
区民それぞれのライフスタイルや価値観を考慮しながら区政への関心が高まるよう、区協議会等に区民の声が届きやすくなるよう配慮するとともに、参加しやすい行事を目指します	・各常会長との連絡・相談を大事にしながら、闊達な意見交換ができるような協議会等の運営に努めたい。 ・公民館活動に積極的に参加し支援、協力を行う。（区民の集い、納涼祭、駅伝大会、しめ縄作り等） ・長寿者慰安会の実施方法を検討する。 ・鼓笛隊、子ども会、中学生会、長寿会、健全育成会に支援する。	・分館と共催の「区民の集い」は、当初よりそのあり方を見直し、手筒花火の打ち上げも含めて今までにないメニューで多くの区民参加を得ることができた。 ・長寿者慰安会については、ここ数年と同様、訪問及び記念品の贈呈活動となった。その他子どもたちの諸団体に支援を行った。	・今年度の区民の集いのあり方の良さや反省点を再考しながらよりよい集いづくりに繋げていきたい。 ・長寿者慰安会については、コロナ禍を経て希薄になりつつある地区高齢者と区民の繋がり場の場としてのあり方を検討したい。
貴重な文化遺産や豊かな自然を有効に活用し、これまでの活動に、団体間の連携や協力等も加えながら、新たな楽しみを見つけます	・区有林界の見回り実施（協議委員、林野水権管理委員） ・赤そば畑、花もも街道、あやめ畑、ヘブンリーブルー園等の活動しているグループとの連携を行い、会の活性化と継続に務める。 ・マレットゴルフ場を誰でも使いやすく安全で気軽に楽しめる場として使えるように区、長寿会、有志とで整備を行う。	・財産区の見回りや草刈り賦役などを通して地区の財産の保全に努めた。 ・赤そばの里の環境作りやそば祭りの充実、また花もも街道、アヤメ園の整備などに協力・支援ができた。 ・マレットゴルフ場は打出し場所の更新ができた。	・地区の文化財である古田人形や地域で大事にしてきた自然環境の保護・保全活動に区としてできることを検討していきたい。 ・区民の集い等の機会を通して、区内諸活動の広報をさらに広げながら若い世代を巻き込んでいきたい。
安全で安心して暮らせる区になるよう取り組みます	・災害時の避難を含めた安全確保に努めるとともに、必要な備品、非常食等の点検及び補充を行う。 ・区内の危険個所の洗い出しと対策を行う。	・県と町の支援をいただき、懸案であった「防災マップ」の作成と区民への配布ができたことで、災害時の啓発活動ができた。 ・非常時の避難活動を意識した備品や消耗品の準備・補充ができた。	・完成した防災マップを活用した形での避難訓練などの実施を検討していきたい。 ・避難所開設時の仕切り版などの整備について検討をしていく。

区名：中原

キャッチフレーズ：やさしさが、みんなを家族にできる里 中原

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
小回りの良さやまとまりの良さを活かし、高齢者を支えあう仕組み等を整えます	・NSCの「暮らしの安全対策委員会」の令和6年度活動計画に沿った取組み(継続的な支援が重要) ・区民の要望(困りごと:ゴミ出し、雪かき、草刈り等)の把握と支援(アンケートによる調査) ・救急医療情報セット(命のカプセル)普及促進形態の変換を図る ・高齢者・一人暮らしの世帯を見回って状況確認の実施' 民生委員、町社協、区会役員等の合同にて)	・R6年度活動計画に沿って推進したが結果的には、昨年同様な活動となった ・全区民から要望事項、困りごと支援へのアンケート調査は前年以上に依頼があり2回/年、実施しました(草刈り、樹木の剪定、除草剤散布他) ・命のカプセルの要望数は、ケース8個、シート18枚でした(新旧の入れ替えが多いが、新規の方もいました) ・高齢者の状況確認2回/年実施 - 対象者全員と話が出来ました、「効果は大」 ・困りごと、なやみ、不安、健康面と要望事項等を聞き一部対応実施済み(防災個別受信機の設置5世帯)	・区民への継続的支援は今後も必要です (雪かき、草刈り、樹木の枝払い、ゴミ出し等)雪かき、ゴミ出しは即対応できるようにする。電動用具の貸し出し方法の再検討が必要 ・高齢者が増加することをふまえて、救急医療情報セットの普及は必要ですが、推進方法の再検討要 ・町社協と区、民生委員との情報交換は必要です ・高齢者の状況確認は継続要。町社協の金銭的支援がなくなるので再検討が必要
区役員の負担を見直すなど、区の役割分担等を検討します	・会議時間の短縮を図り拘束時間を軽減する(区会等) ・合同委員会を開催して各委員会の作業を半日・1日単位に集約し日数の減を図る ・秋の人足は4常会ではなく2常会で行い各常会は2年に1回とする(変更後3年目に入る) ・区会の作業を一般区民に割り振る試みは負担増につき昨年度未実施、再検討とする	・本年度は役員全員が入れ替わったため2時間以上になることもあり結果を出せなかった ・両委員会が協力して作業を進め日数の減に繋がった ・引き続き実施 ・難題でした(取組無し)	・6名の区会議員が2年目に入るのスムーズになることを期待する ・前年同様に女性の活躍は必要と思います(民生委員、健全育成、PTA役員も女性に依頼しています、区会役員以外でも展開してください)
子育て世代やお年寄りの世代、在来者(正区)や転入者(準区)など様々な人が集まって、中原の未来を考えます	・サロン「ふれあいなかはら」への参加対象者を高齢者だけでなく、子育て世代も参加できるよう工夫する ・「ボッチャ」を使った世代間交流(例)小学生と高齢者の対戦等 ・子どもも楽しめる専門家による「紙芝居」の上演 ・分館行事の事前日程通知と直接の声かけ実施 ・5年ぶりの納涼祭実施に向け、各種団体との協力推進	・子育て世代の参加は難しく、アナウンスをしたが変化はなかった ・2～3項は未実施 (取組無し) ・分館の行事は「ふれあい交流」のメインの場となる、子供からお年寄りまで世代を超えての交流が出来た。特に飲食を伴う納涼祭にした事により、多くの区民で盛大に出来ました	・アンケート調査等を行い参加する体制を作る ・世代間交流は、再検討願う ・PTAと相談し毎年実施している行事と抱き合わせて新たな行事内容を検討願います ・分館行事は子供から高齢者まで集う重要な場所、更なる検討が必要

区名:松島

キャッチフレーズ: 人や地域の個性を尊重し 未来ある安心と安全の暮らしを創る 松島

主な取り組み	具体的な取り組み(計画)	具体的な取り組み(実績)	来年度への引継事項
1. 防災・防犯 ・災害が発生しても被害が最小限となるよう、常会組織と避難方法を変えます ・防犯灯、カーブミラーを整備します	① 「防災だより」を避難を主とした内容にして更新します ② 松島区の防災組織を見直し実効性のある組織にします ③ 総合防災訓練は、東南海地震の震度6弱を想定した避難訓練と区独自の訓練を行います ④ 常会から要望書で出された防犯灯・カーブミラーの整備をします	① 区の「防災だより」を更新して災害常会の特定と避難場所の明示をし、避難方法を中心とした防災体制ができた ② 町の総合防災訓練が中止となり、区独自に防災設備などを整備した ③ 防犯灯、カーブミラーは一部実施が遅れている	① 「防災だより」を基に避難方法の徹底を図る ② 常会長とブロック責任者の意思疎通を図り、災害発生時の対応を確認する
2. 情報の伝達 ・区と区民の情報が早く伝わるように区のホームページを作り伝達します	① 区民が使いやすいホームページを作り、タイムリーな情報発信をします ② ホームページに書類のデータベースを作り、要望書などを作成しやすくします ③ 更新した「防災だより」を全戸配布します、また常会未加入者にも配布を予定	① 区の状況を理解して頂くための「ホームページ」を作成して情報を流すことができた ② 「防災だより」を常会全戸、企業、アパートに配布して避難を徹底するようにした	① 区のホームページの利用者を双方向に増やしてゆきたい ② 災害時に情報が早く取得できる体制を作ってゆきたい
3. 生活基盤の整備 ・常会からの要望書を受けて、道路・河川・集会所などの整備を行います	① 常会の要望書を町に依頼したり、区で工事するなどして改差をします ② 区有林の管理方法などを、町と一緒に考えてゆきます ③ 年間を通じて新井の水の供給や排水の管理を行います	① 常会から多岐にわたる要望を受け、区独自や町に依頼して環境改差努めた ② 県行造林が契約解除となるので、町の森林ビジョンを参考に10年かけて間伐をする方針を決めた ③ 新井の見回りを隔日で行い、泥上げ、草刈りを行った	① 要望が多岐にわたるので、町に要望する件と区が行う件を効果的に考える ② 県行造林の契約解除で、区有林の管理について総合的に見直す
4. 高齢化・少子化 ・長寿者、一人暮らし長寿者、こどもなどの弱者に沿った事業を計画します	① 戸数の少ない常会が将来的にも活動しやすいよう援助してゆきます ② 一人暮らし長寿者を訪問し、困っていることを聞くなどします ③ 松コミクラブで困っている長寿者を援助してゆきます	① コロナが第5類となったが、長寿者慰安会を行う場所がなくなり実施できず、外出支援券を配布することとした ② 区民夏祭りは子どもの参加が多く楽しみにしていたが、町体育館の耐震工事のために実施を見送ることとした ③ 松コミクラブは地域のお年寄りの困っていることに手助けを行っている	① 高齢者福祉は会場都合で見直す必要がある。 ② 町民体育館の工事が続き、行事・駐車場が制限されるので検討が必要 ③ 「松コミクラブ」を有効に使うようにしたい
5. 女性参画 ・区の行政に女性の立場でのご意見が反映できるよう検討します	① 松島区のためにできるだけ女性登用をしたいのですが、常会推薦の役員が多いので難しい所もあります ② 避難所開設訓練では環境改善委員の女性の意見を聞くようにしています	① 女性活用は多方面で検討してきたが、目に見える成果を出すことができなかった	① 女性を活用したいが選出が難しい、特別な役職を作る必要があるか検討する
6. 区会・常会 ・今年度は町民体育館の工事があります ・区と常会、分館、町議との情報交換を進めます	① 災害時の避難時に常会長を補佐する組織を検討して被災者を減らす方法を考えてゆきます ② 町民体育館の工事の時も松島コミュニティセンターが安全に使用できるようにします	① 各ブロックに防災委員会を作り、委員長が常会長を補佐することにした ② 区民スポーツ大会が4年ぶりに実施出来た、新しい試みを取り入れて全員参加の方向に進んでいる ③ 消防第三分団の詰所を耐震構造にするよう進めている	① 区や常会に加入しない人が増えているので対策を立てる必要がある ② 空き家が増えている、防災・防犯の見地からも管理をどうするか検討する

区名:木下

キャッチフレーズ:大樹のもとに集い 世代を超えた絆でつながる 木下

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
ご近所付き合いで絆を深め、災害時にも対応できる区を目指します	○自主防災訓練への取り組み ○敬老会の開催(伊那プリンスホール9/24) ○つくしの会の実施 ○公民館・育成会活動の実施 ○ふれあいサロンの開催(7ヶ所) ○環境美化活動、常会単位による土木作業、草刈、河川清掃の実施 ○声かけ、あいさつ運動の推進 ○いきいき百歳体操による健康増進の推進	○令和6年度木下地区地震総合防災訓練の実施(11/29防災受入れ訓練) ○敬老祝い品贈呈(福士健966名2,000円) ○つくしの会(9/29木下公民館 42名参加) ○育成会活動:天神様(11/17) ○ふれあいサロンの実施 ○環境美化活動(5/6.10/20)土木作業・草刈り他 ○あいさつ運動(月4~5回) ○帯無川・木ノ下駅・一の宮 ○いきいき百歳体操の実施	○自主防災訓練への取り組み ○敬老会の開催か祝い品贈呈 ○つくしの会実施 ○公民館・育成会活動の実施 ○ふれあいサロンの開催 ○環境美化活動(常会単位による土木作業、草刈り、河川清掃実施) ○声かけ・あいさつ運動の推進 ○いきいき百歳体操による健康増進の推進
多くの人が参加しやすいよう、行事や活動の取り組み方・あり方の工夫をします	○区民マレットゴルフ(公民館) ○木下ふれあいウォキング(育成会) ○ブナ林の保護、PR・見学会 ○長寿クラブ活動への参加 ○区民文化祭の実施	○公民館活動:区民マレットゴルフ大会(5/21) ○区民文化祭実施(11/23.24)新春マラソン&ウォーキング大会(1/1) ○育成会活動:ふれあいスポーツレクリエーションの実施(5/14) 天神様(11/17) ○長寿クラブ活動(花壇作り・公民館周辺清掃) ○ブナ林保護のため歩道整備	○区民マレットゴルフ大会の継続 ○ふれあいスポーツレクリエーションの継続 ○ブナ林の保護、歩道整備 ○長寿クラブ活動への参加 ○区民文化祭の実施
豊富な人材の活用により、資源や行事・活動が維持できる仕組みをつくり上げます	○伝統行事を今まで通り支援し後世に残す。 ○夏、冬のお祭りを充実させる。(山車飾り、鼓笛隊、鹿頭行列、遷座神輿) ○ゴミ処理、資源ゴミへの分別周知、衛生施設の見学・研修 ○セーフコミュニティ活動の継続 ○(カタクリの里ウォーキング・くらしの相談・生活支援活動)	○伝統行事:公民館出前講座 注連飾り作り講座実施 ○夏祭り:鼓笛隊・神輿渡御 納涼祭の実施 ○初祭り:山車飾り 4舞台奉納 施設の視察研修の実施 ○安全・安心活動(セーフコミュニティ)の実践(ふれあいラジオ体操・くらしの相談・生活支援活動)(5/3花見ウォーキング・11/9区ウォーキング教室)	○伝統行事を継続支援 ○夏祭り・初祭りの充実実施(鼓笛隊パレード、鹿頭行列、遷座神輿、山車飾り) ○ゴミ処理、資源ゴミへの分別周知 処理施設の視察研修 ○安全・安心活動の継続

区名: 富田

キャッチフレーズ: 豊かな自然と癒しの風景に区民が集う 富田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
高齢者が住みやすい地区を目指します。 高齢者世帯の状況を把握し困り事等を近所や地域で対処し支えて行き災害時もしっかり守れるよう取り組みます。	・高齢者世帯の雪かき、ごみ出し支援の継続 ・高齢者世帯の草刈りの継続 ・高齢独居者宅への訪問 ・災害時支え合いマップの更新 ・長寿者慰安会の開催 10月予定 ・トラクターによる畑のロータリー作業を支援活動に追加	・高齢者世帯の雪かき、ごみ出し支援の継続 ・高齢者世帯の草刈りの継続 ・一人暮らし高齢者宅を夏・冬の2回訪問 ・災害時支え合いマップの更新 ・長寿者へのお祝い金贈呈と特別企画として落語公演を10月に実施 ・新規支援としてトラクターによる畑のロータリー作業を12回実施	・高齢者福祉基金を活用して高齢者の自主活動を促進する。
区民の地区行事への参加を通じ、地域住民の連携を深めます。また、区民全員で子供を育成する機会をつくれます。	・マレットゴルフ大会 6月予定 ・玉ねぎ収穫祭と定植体験の開催 6月、10月予定 ・盆行事の開催 8月予定 ・町内一周駅伝への参加 9月予定 ・秋祭りの開催 10月予定 ・区民運動会の開催 10月予定 ・長寿者慰安会の開催 10月予定 ・どんど焼きの開催 R6年1月予定	・マレットゴルフ大会 6月実施 ・玉ねぎ収穫祭と定植体験 6月、10月に実施 ・盆行事 雨天のため懇親会を実施(8月) ・町内一周駅伝への参加 9月 ・秋祭りの開催 10月 ・区民運動会の開催 雨天のため懇親会を実施(10月) ・どんど焼き R6年1月実施	・区民運動会等で従来の形式(例えば常会対抗)が難しい状況であり参加者の年代、人数に応じた実施が可能なニュースポーツ等の採用検討も必要。
区民の行事参加者が増加するよう内容の変更や取り組み方を工夫します。	・行事計画段階での検討充実 ・参加促進の行動をとる	・行事開催側の負担軽減として外部ソースの活用を行った(秋祭り) ・アンケートにより対象者のニーズに沿った内容で実施するようにした(長寿者慰安)	・ニーズの沿った行事を行うための工夫が必要。

区名：中曽根

キャッチフレーズ：伝統と自然の中で みんな笑顔に 中曽根

主な取り組み	具体的な取り組み(計画)	具体的な取り組み(実績)	来年度への引継事項
中曽根区の人口減少への歯止め対策	・後継者が区内に留まりやすくなるよう、区費、賦役を免除 ・近隣での就業先の確保	・継続実施中	・区民の中には様々な意見があるが、なんとか妥協点を探り、人口増加を図ってゆきたい
災害への備えと、今困っている人への支援	・支え合いマップ、支援者リスト作成 ・民生児童委員などによる定期的な見守り実施 ・防災計画・組織の整備と、訓練の実施 ・フードバンク実施、呼びかけ	・継続実施中 ・継続実施中 ・継続実施中 ・継続実施中	・区民の防災意識をより一層高めていくことは必要。(各戸の備蓄品の実態アンケートなど)
区民交流の機会(行事や作業)を継続し、良好な人間関係を保つ	・納涼祭、敬老会、区民交流会などの開催 ・鼓笛隊、どんど焼き ・獅子舞の継承 ・プランターの全戸配付、花壇の整備	・納涼祭を3年ぶりに実施 ・敬老会は、対象者の意見が消極的でもあり実施見合わせ ・交流会も飲食、演芸会は見合わせ、室内スポーツ大会を実施 ・その他は計画通り実施	・納涼祭、交流会とも、実施時期や内容も含め、今後の在り方を再検討する時期に来ている思う
時代、状況に対応した区組織体系の再構築	・区とは別途の会議体(仮称：未来委員会)にて、少子高齢化、定年延長などに対応した区の体制を模索する	・審議委員会にて、神社・寺社の総代人選について検討し、一応の結論は見た。	・区民へのアンケートで、現状の不都合(あれば対応策も)を募り、現状把握と問題点の整理を進める

区名：三日町

キャッチフレーズ：活力とふれあいが 明日をつなぐ 三日町

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区役員や区民の負担を考慮し、継続できる取組みを行います	役員の負担を軽くするためには危険な作業などは業者委託とする。	作業の内容によっては業者に依存しなくても良い。高齢者対象のイベントも対象者の意見を聞くと否定意見もあり役員の負担もあるため簡単な内容とした。	危険なことは避けるべきだがその判断はその時の役員が決めるべきであると思う。区会、区役員会の集会、慰労会などは曲力軽減する。
子育てや行事を通じ、ふれあう機会を大切にします	公民館の活用やサークルの立ち上げ補助など区民の意見を聞き取る。	コロナ以前の体制に戻し、数々のイベントや新しい試みを実行した。	分館事業を応援する。公民館活用を促進し各種サークルの応援も行う。
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます	県道の交通量を減少させ、安心して区内を散歩したり歩きやすくする。そのためにアイデアを募り区民が一つになって行動する。	県道の交通量は減少方向ではなく、今後も増える見込みである。現ルートを改修では根本解決に至らない。そのため、新しい考えを精査していく。	新しい考えも出ているのでその地域住人に説明、理解が得られるか確認する。その後、輪を広げ近隣の区、町と拡大する。
各常会及び区に加入される方が心地よく付き合える雰囲気を作ります	区の一員としてやりがいのある活動を行う。イベントを通じコミュニケーションの場を提供する。	区、常会、班などの地域コミュニケーションが生活するうえでいかに大事なことを認識して頂けるような取り組みを防災活動を通じてわかってもらう。	地域の要である第五分団の人員不足であることを周知し、区民にも危機感を持っていただくとともに不足解消と若い世代からの地域密着の体制を整える。
防災訓練を通じ、防災意識を高め安全安心な地域づくりに取り組みます	大規模災害(地震)を想定した、区が一丸となれるような防災訓練を行う。2次避難所を活用し、多くの区民が参加できる訓練とします。	防災訓練が中止となったため、別の形で常会での講話とした。	伊那谷断層を想定した防災訓練の実施。

区名: 福与

キャッチフレーズ: 伊那谷を一望する めくもりの里 福与

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
福与区の宝である人のつながりを次世代へとつないでいくため、区民が集い活動する場を大切にしていきます	①福祉にかかわる悩み事など、民生児童委員等と連携して相談しやすい環境を作る ②区内のサークルや団体を支援	①民生児童委員と連携して高齢者世帯への訪問と困りごとの支援 ②補助金の支援	①高齢者世帯への支援継続 ②活動への支援
より多くの区民が参加・参画できる行事や活動にしていくために、幅広い区民の声や女性の目線からの声を大事にして取り組みます	①アフターコロナへの変化に応じた区民の集える行事の開催 ②子どもたちの姿が見える取り組みの実施 ③区報の発行、ガイドブックの活用 ④女性が参画しやすい土壌づくり(講話、懇談会等の開催)	①分館・健全育成・区会が協力して、コロナ前の行事の開催 ②新たな区内サークル発足により、こどもたちが集える取り組みを実施 ③3回/年の区報の発行 ④常会単位で高齢者を中心とした親睦会(そば打ち会など)の開催	①役員の負担が大きくなりえない範囲で行事を継続させる ②サークルへの必要な支援をし、継続的な活動にしてもらう ③3回/年以上を目標に区報を発行 ④常会単位で集いの機会を設ける
防災マップを積極的に活用と災害発生時の支え合いマップを活用します	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の整備更新 ②常会単位の防災学習の開催 ③発災時に迅速に対応できる本部体制の確立 ④地域防災マップの最新情報を加味した更新と区民への周知 ⑤町と連携した防災訓練の実施 ⑥消防団との懇談による防災意識の共有	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の更新 ②一常会で防災学習実施 ③防災組織の年度更新 ④新たな情報の追加なし ⑤町訓練は中止のため区独自訓練実施 ⑥消防団との懇談実施。団員減少によるり活動停滞の懸念を協議	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の年次更新の実施 ②継続実施(一常会/年) ③防災組織の年度更新 ④新たな防災情報入手の都度、防災マップの更新と区民への周知を実施 ⑤町の訓練日に合わせて実施する ⑥消防団活動の一部支援(水利点検)することにより地域防災の意識向上につなげる

区名：長岡
キャッチフレーズ：健やかに暮らせる 自然と歴史に育まれた 長岡

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
・転入者が転入しやすい地域(区内)環境を整備・検討いたします ・区民の区政への負担平準化を検討する。	・十沢坂上下の整備等年間を通して草刈り等を実施します(美しい長岡) ・R4年の総務活性化委員会にて実施の区民アンケート結果をふまえ実施可能な対策を選択し実施する。 ・移住者向けにアピールできる内容のマップを年度内作成をめざし、来年の移住者向け追加資料とする。 ・区民の常会ごとの区役員の負担の平準化するため、一部区規約変更を実施、様子を見る。	・十沢坂上下の草刈整備を実施、長岡玄関口の環境整備を行った。 ・総務活性化委員会にて、移住者勧誘マップの作成実施した。 ・11月もみじ湖祭りにおいて、観光客にマップの配布を実施した。 ・今年より新体制で合同会を運営中。結果の様子を見ている。	・十沢坂の環境整備は継続して実施していきたい。 ・移住者勧誘マップの配布について、1年目観光客に好評、継続して行い1人でも多くの人に長岡へ移住してもらえるように宣伝したい。 ・新体制での合同会運営の総括を行い検証して次のステップにつなげたい。
ご近所同士又、区内で一人暮らしのお年寄り、高齢者を気かけ、区内で状況を共有します。	・地区社協が展開している生活支援部会が中心となり、毎年区民を対象にしたアンケート結果にて支援します。 ・4カ所のふれあいサロンの運営にあたり、推進委員を通じた広報活動に努め、参加者の増加をはかります。 ・住民支えあいマップを各推進員(代議員)・地区社協・民生委員と連携し随時見直し活用いたします。	・地区社協が展開している生活支援部会が中心となり、アンケート結果通り支援活動ができた。 ・4カ所のふれあいサロンの運営にあたり、推進委員を通じた広報活動と参加者の勧誘を行った。 ・住民支えあいマップを推進員・地区社協・民生委員と連携して見直し活用をした。	・地区社協が展開している生活支援部会が中心になり継続的な活動をしていきたい。 ・4カ所のふれあいサロンを通じて広報活動を行い仲間の輪を広げていきたい。 ・支えあいマップを最新の状態にして隣通し近所付き合いの場を広げていきたい。
世代間の交流の場を守り、近所付き合いを大切にすることで、災害時でも対応できる準備を整えます	・分館による区民を対象とした区民レクリエーション等積極的に実施する。 ・常会単位の、集まる機会を増やし積極的に触れ合う場を作ってもらい近所付き合いをしてもらいます。	・分館による区民レクリエーションの実施ができ区民の交流ができた。 ・常会毎にレクリエーション後などに懇親会を行い皆が集まり交流ができた。	・次年度も積極的に区民レクリエーションを行ってほしい。 ・次年度も今年度より集まる機会を作り交流を図ってほしい。
地域の宝である山・水の管理のあり方や取組みを検討します	・R3年度から「森林経営5ヶ年計画」に沿い、カラマツの択伐を実施して、広葉樹の育成を行い、水源涵養林に樹種変更をして安定した水を生む山にしていきます ・林道、作業道の整備等水源の森の更なる向上に取り組む。 ・自前上水道の生かし、区民増の活動を進める。 ・自前上水道に対する長期的な経営計画を整え、整備更新計画と資金計画に取り組む。	・昨年度に続き(森林経営5ヶ年計画)の実施ができた。水源涵養林を目標に実施がされた。 ・自前の上水道の生かし移住者勧誘マップもでき本年度も新築4件空きや入居3件あり計画通り活動ができた。	・森林経営5ヶ年計画が予定されている。目的を間違えずに実施してほしい。 ・水道資源を活用して、移住者増を目指し安定した長岡区を目指してほしい。 ・移住者勧誘マップを生かし長岡区の魅力の発信をしてほしい。
消防団への加入に対して積極的に区として協力します	・消防団詰め所の環境整備(トイレの改修から実施の予定)を行います。	・詰め所の雨漏りが発生してトイレ改修が次年度に持ち越された。 ・長岡区において消防団員の加入がないことから区役員と消防団員と意見交換会を実施して6月より、長岡区が全面にでて消防団員と団員の勧誘活動を実施した。	・次年度はトイレ改修が予定されている。 ・今年度団員勧誘の成果は見られず残念であったが、引き続き区が全面的に協力して勧誘活動を行ってほしい。

区名：南小河内

キャッチフレーズ：古から伝わる伝統と築き上げた暮らしやすさを未来につなぐ 南小河内

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区、公民館、社会福祉協議会、青少年健全育成会、消防団活などの各種団体と連携し、区民相互の交流をはかるとともに、区内での支え合い(近助)文化の醸成やコミュニティの発展をはかる。	①おさんやり（盆祭）の継続実施 ②各種交流やイベントの実施（スポーツ大会、ふれあいサロン等）（公民館、社協活動との連携） ③生活支援（住民相互の助け合い活動等） ④健康づくり支援（介護活動予防等） ⑤青少年健全育成（児童会行事支援等）	・おさんやりは昨年と同様に盛大に行われた。担ぎ手不足によりキャスター装着による短コースとなったが、参加者は、昨年より増加傾向になった。 ・区民ウォーキング、どんど焼きを実施 ・社協の活動についても、要支援者への継続支援、元気ダンス、百歳体操の実施。ふれあいサロン活動、社協フェスタでの安全安心をテーマに特殊詐欺、地震減災防災対策の動画鑑賞実施。	・おさんやりは、キャスター装着により、従来のコースを回れるよう検討願いたい。また、公民館の各行事に対する、みのわメイトの活用に、積極的に取り組んでもらいたい。
区内の施設や環境整備に向けて、区民総出のボランティア活動の継承・拡充、自主組織への支援を行う。	①区内の協働体制の拡充をはかり、区の施設や管理地の環境整備 ②上の平城跡、知久沢自然体験公園、東山山麓歴史コース、区有林等の整備	・区民総出の美化活動は、年2回、多数の区民の参加を得て区内清掃を実施できた。また年3回の道路清掃も行った。 ・上の平、知久沢自然体験公園、東山山麓歴の道の整備についても、史跡文化財保護委員会の会員でのほぼ計画通りの整備作業を実施することができた。 ・区有林については、100年の森林づくり委員会を継続設置し計画事業を推進できました。 ・一本桜周辺整備も区会として行った。	・区内の環境整備（特に夏季）は、区民の皆さんの協力がなければ維持できない。来年度も各組織により進めていってほしい。又、各組織が環境整備を行ったあとは、区として、みのわメイトを通じ、区民にアナウンスし、区民へ知らせていってほしい。（作業内容等の写真をまとめPDF化してアナウンス）
区内に保育園、小学校があり『子供達の安全・安心の確保』が重要であり、この点を意識した取り組みを行う。	①見守り隊の継続や支援 ②ゾーン30の周知 ③区内通学道路へのグリーンベルト設置への取り組み ④区内通学道路の安全性確保の取り組み（東小との連携強化）	・子供の安全安心確保のため、見守り隊の登録メンバーの皆様の日々の活動のお陰で事故事件もなく何とか任務全うできました。 ・本年、生活改善センターから消防センター火の見やぐらまでの間にグリーンベルトの設置が完了しました。	・子供の安全安心を確保するため、学校、PTA、区各種団体と協調して区内の危険個所の改善を行政へ要望するとともに、改善対策をしていく。 ・見守り隊の皆様には大変ご苦労ではあるが、引き続き重要な責務をお願いしたい。
人口減少や高齢化などの課題ある中で、区・常会及び区民との関りを大切にし、安全・安心な住み良い地域づくりを目指します。	①若年層（独身者が多い）出会いの場、イベント等考案 ②区費の有効活用で住みやすい地域支援 ③人の集まる活性化地域検討	・区費の負担減少については、財政上余裕がある状態ではないため、当面見直しはせず現状維持でご理解を頂きました。 ・本年5月より、区として“みのわメイト”をフル活用し、区民へのインフォメーションを行った。現在、206名の参加者があり、区民の皆さんに区政をわかりやすく伝達できたと感じる。	・区政だけではなく、公民館等が“みのわメイト”を活用し、区民との綿密なコミュニケーションを図っていく必要がある。未だ、ITに拒否感を持っている区民が多数おり、講習会等を通じ、デジタル化を進める必要がある。

区名:北小河内

キャッチフレーズ:地域が輝き笑顔あふれる 北小河内

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
安全安心な地域を築きます	1)KSCアンケート結果に対する対策方向付け ・児童の交通安全対策＝道路標示・外側線等道路管理者への要望 ・安全安心に関わる要望、意見への実施 2)KSC継続取り組み事項の推進 ・設置啓発看板の更新と修繕の実施 3)自主防災の取り組み推進と家庭の防災意識高揚	1)KSCアンケート結果に対する対策方向付け ・通学路に迫り出した支障木等の伐採処理を実施した ・道路標示・グリーンベルト化等道路管理者に要望した 2)KSC継続取り組み事項の推進 ・啓発看板等の維持管理に努めた。 3)自主防災の取り組み推進と家庭の防災意識高揚 ・みのわメイト等で防災意識高揚を継続実施した	1) 2)KSC継続取り組み事項の推進 ・継続事項の積極推進 3)自主防災の取り組み推進と家庭の防災意識高揚 ・防災マップ更新等防災意識高揚啓発 推進
自然環境を守り、暮らしやすい住環境を保全します	1)竹の腰公園周辺の環境整備 2)生活道路・農業用水路の補修、改修 3)アメシロ・アレチウリ駆除 4)アダプトシステムの継続実施	1)竹の腰公園周辺の環境整備 実施 2)生活道路・農業用水路の補修、改修 実施 3)アメシロ・アレチウリ駆除 ・地権者の理解を得て発生区域の伐採処理実施 4)アダプトシステムの継続実施	1)竹の腰公園周辺の環境整備 2)生活道路・農業用水路の補修、改修 3)アメシロ・アレチウリ駆除 4)アダプトシステムの継続実施
歴史を伝え、地域の絆を育みます	1)文化財及び東山山麓歴史の道の案内板の管理と修復 2)五社権現堂周辺の環境整備 3)歴史図書館内の文書管理 4)助け合い活動の継続的取り組み 5)ふれあい会・支え合い事業に対する活動支援	1)文化財及び東山山麓歴史の道の案内板の管理と修復 維持管理に努めた 2)五社権現堂周辺の環境整備 実施 3)歴史図書館内の文書管理 維持管理に努めた 4)助け合い活動の継続的取り組み 継続支援 5)ふれあい会・支え合い事業に対する活動支援 継続支援	1)文化財及び東山山麓歴史の道の案内板の管理と修復 2)五社権現堂周辺の環境整備 3)歴史図書館内の文書管理 4)助け合い活動の継続的取り組み 5)ふれあい会・支え合い事業に対する 活動支援
少子高齢化に見合う区政体制・機能・デジタル化への対応を行います	1)区会役員の業務軽減のため、諸事業のやり方の追求と見直し 2)みのわメイトの区民への普及のため、区民対象の説明会実施	1)区会役員の業務軽減のため、諸事業のやり方の追求と見直し ・区会、常会長会グループライン化「ペーパーレス等」 2)みのわメイトの区民への普及のため、区民対象の説明会実施 ・関係団体役員のみ実施	1) ・合同会の開催により情報共有、回数 など業務の軽減を図る 2) ・防災行政無線使用方法等説明会への参加と普及推進
笑顔で生活できる地域、絆づくりを目指し各種サークル、ボランティア活動の輪を 広げ、気軽に参加できるふれあいの場をつくり支援を進めます	1)現在実施されているサークル・ボランティア活動の維持・継続 2)高齢者の増加に伴う、敬老会の見直し	1)現在実施されているサークル・ボランティア活動の維持・継続 継続支援 2)高齢者の増加に伴う、敬老会の見直し ・高齢者福祉基金の有効活用	1)現在実施されているサークル・ボランティア活動の維持・継続 2) ・創意工夫し規格した事業への高齢者 福祉基金有効活用